



大切な人へ、感謝の気持ちを伝えてみませんか？

今年は、5月12日(日)が「母の日」、6月16日(日)が「父の日」です。この機会に、今までちょっと恥ずかしくて言えなかった感謝の気持ちを、言葉で伝えてみませんか。



大人への階段を上りつつ、心揺れ動く時期の中学生。時に戸惑い、わが子とぶつかりながらも、悩みや葛藤を受け止めようとする親。それぞれが自分の心を見つめ、お互いに宛てて書いた「こころの言の葉」の作品を紹介します。

【学校教育課 ☎ 227・1941 FAX 227・3016】

子から親へ

「ありがとう。」の一言

「ありがとう。」の一言が、出ない。「ごめんなさい。」の一言が、出ない。それなのに、「嫌だ。」の一言は、嫌になるほどに出る。いつも思いと反対のことを言うこの口が、いつか正直者になる日待つ。それまでは、察してください。お父さん、お母さん。

親から子へ

成長

「ああしなさい。」「こうしなさい。」と言っていた日から、「ママ、ああしたら。」「こうしたら。」と言われるようになった。いつのまにか大きくなって、どんどん一人でやっていく。まだまだ甘えてほしいけれど、追いこしてゆけ、我が娘

子から親へ

私の宝物

私は毎年、誕生日が楽しみです。大きくなるにつれて、プレゼントより、おいしいご飯より、楽しみになってきたことがあります。それは、私が生まれた時の話をしてもらったことです。同じことでも、照れくさくて、でもうれしくて……。

お母さんは、とびっきりの笑顔で、お父さんは、ささやくように話します。今年はおなかにいたときのエコー写真も見せてくれました。

私の夢は、お母さんになることです。お母さんたちみたいな夫婦になって、赤ちゃんを産みたいのです。とっても、感動するのでしょうか？

そして、私もいつか自分の子供に話してあげます。

お父さん、お母さん、いつもありがとうございます。大好きだよ。もう、十三歳になりました。また、来年もお話聞かせてね。私の宝物です。

親から子へ

大人になっていく君へ

ついつい言ってしまう
もう自分でちゃんとできるのに
ついつい言ってしまう
言わなくても良いことを
ついつい聞いてしまう
あなたのことを知りたいから
ついつい聞いてしまう
答えたくない君に

時間をかけて選んだ「言葉」は

大切な人へのプレゼント

大切な人を思い、言葉にしてみよう



学校教育課 重丸 指導主事

何げない会話は平気なのに、大切な人へいざ感謝の思いを伝えようとすると、照れくさくなつて、面と向かつてはなかなか言い出せないときがありませんか。

そんなときは、1枚の紙に書き出した文章で相手に思いを伝えてみてはどうでしょう。相手のことを考え、時間をかけてじっくりと吟味し、一つ一つ選んで書き出した「言葉」は、大切な人へのかけがえのないプレゼントになるはずですよ。

「こころの言の葉」には、あふれる思いを言葉に託した、読む人の心を揺さぶる作品がたくさんあります。皆さんもこの機会に、日頃言えなかった言葉を大切な人へ贈ってみませんか。

こころの言の葉

～第16集 一つの言の葉、一つの思い～

中学生から親、親から中学生に宛てた思いを集めた作品集です。

市教育総合センターで配布しているほか、市ホームページでもこれまでの作品集を見られます。



市ホームページ

